

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/03/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



金融機関の信用不安で急落、70ドルの節目割り込む

NY原油先物相場は、1バレル=66ドル台まで急落する展開になった。70ドル台前半から80ドル台前半のボックス相場が続いていたが、金融機関の信用不安を背景にリスクオフ化が進むと、原油相場は急落した。先行き不透明感が極めて強くなっており、リスク回避で買い玉整理の動きが加速した。70ドルの節目を割り込み、2021年12月以来の安値を更新している。

3月10日に米シリコンバレー・バンク、12日に米シグネチャー・バンクが連鎖破たんした。15日にはスイス金融大手クレディ・スイスの経営不安に対する警戒感も広がり、投資家のリスク選好性が後退している。急激な金利環境の変化が実体経済や金融システムに混乱をもたらし始めているとの見方から、ポジションを軽くして様子を見たいとのムードが優勢になった。この問題がこれからどのような展開を見せるのかは見通しが立たない状態にあるだけに、投げ売りが膨らんでいる。3か月以上にわたって続いていたボックス相場を下抜いたことも、値下がり傾向の加速を促した模様だ。

米エネルギー情報局 (EIA) の米石油在庫 (3月10日時点) は、原油が前週比155万バレル増、ガソリンが206万バレル減、石油精製品が254万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

下げ過ぎ感が強い価格水準だが、金融不安の進展状況に依存

金融機関の信用不安が最大のテーマになっているだけに、先行き不透明感は強い。更に新たな連鎖破たんの動きなどがみられると、一気に60ドル台前半にコアレンジを切り下げる可能性が高まる。一方、ある程度の落ち着きが見られると、短期的な売られ過ぎ感の強さもあって安値修正の動きが優勢になる。

石油輸出国機構（OPEC）プラス参加国の複数の代表は、需給要因ではなく金融要因に基づく急落であり、特段の政策調整の必要はないとの認識を示している。サウジアラビアとロシアも、現行の減産体制を年末まで継続する方針を確認しているが、それ以上の対応については、少なくとも表舞台では議論されていない。このため、OPECプラスの追加減産による原油相場の反発シナリオは限定される。一方で、需給環境に目立った変化が生じていないのであれば、金融市場の安定化が促されると、従来の70ドル台前半から80ドル台前半のボックスに回帰する可能性が高まる。金融市場の混乱を手掛かりに短期目線で一段安を試すのか、中期目線で値ごろ感から買いを入れるのかが問われる局面になる。

3月21～22日に米連邦公開市場委員会（FOMC）が開催される。0.25%の追加利上げが市場コンセンサスだが、今後の利上げ対応に慎重姿勢がみられると、リスク資産全体の下値がサポートされ易くなる。逆にここであくまでもインフレ対策の利上げを強く志向するスタンスが打ち出されると、上値を圧迫されるリスクが高い。また、70ドル割れで米戦略石油備蓄（SPR）向けの原油購入の議論が活発化している。実際の買い付け計画発表などが行われると、安値修正が促される可能性が高まる。

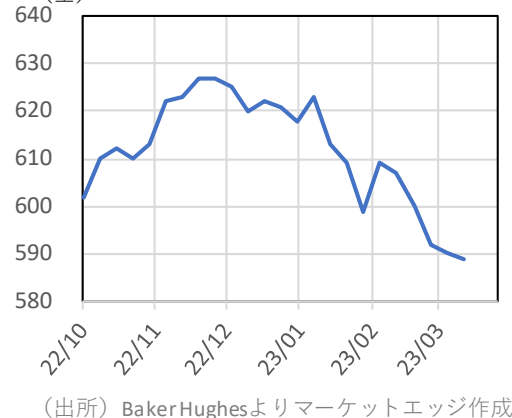
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

